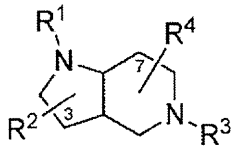
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年4月10日(2014.4.10)

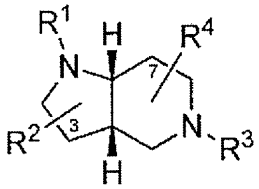
【公表番号】特表2013-521284(P2013-521284A)
【公表日】平成25年6月10日(2013.6.10)
【年通号数】公開・登録公報2013-029
【出願番号】特願2012-556115(P2012-556115)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/437　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/444　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/14　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 471/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/437
Ａ６１Ｋ　31/444
Ａ６１Ｐ　 1/16
Ａ６１Ｐ　31/14
Ｃ０７Ｄ 471/04　１０２

【手続補正書】
【提出日】平成26年2月24日(2014.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ｃ型肝炎を罹患している患者の治療のための薬学的組成物であって、前記組成物は以下の化学式の化合物、
【化１】

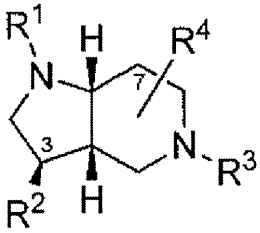


又は、それらの薬学的に許容可能な塩を含み、式中、
Ｒ^{1}が、任意に置換アリールカルボニルであり、アリールが任意に置換フェニル、チエニル、またはピリジルであり、
Ｒ^{2}が、任意に置換アリールであり、アリールが任意に置換フェニルまたはチエニルであり、Ｒ^{2}がＣ－３において存在し、
Ｒ^{3}が、任意に置換アリールアルキルであり、アリールが任意に、置換フェニル、チエニル、ピリジル、またはピラゾール－４－イルであり、
Ｒ^{4}は水素である、
化合物と、
任意に１つ以上の薬学的に許容可能な担体、アジュバント、またはビヒクルと
を含む、組成物。

【請求項２】
前記化合物中の環状融合の立体化学がｓｙｎである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記化合物が化学式
【化２】



であるか、又はその薬学的に許容可能な塩である、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記化合物が化学式
【化３】



であるか、又はその薬学的に許容可能な塩である、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
式中、Ｒ^{1}が任意に置換アリールカルボニルであり、アリールがフェニル、２－フルオロフェニル、４－フルオロフェニル、２－ピリジル、３‐ピリジル、４－ピリジル、または２－チエニルである、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
式中、Ｒ^{1}がベンゾイルである、請求項１に記載の組成物。
【請求項７】
式中、Ｒ^{2}が任意に置換アリールであり、アリールが４－フルオロフェニル、３－メトキシフェニル、４－メトキシフェニル、または３－チエニルである、請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
式中、Ｒ^{2}が任意に置換フェニルであってもよい、請求項１に記載の組成物。
【請求項９】
式中、Ｒ^{3}が任意に置換アリールメチレンであり、アリールがフェニル、２－フルオロフェニル、３－フルオロフェニル、４－フルオロフェニル、２，３－ジフルオロフェニル、３，４－ジフルオロフェニル、２－クロロフェニル、３－クロロフェニル、４－クロロフェニル、２－メチルフェニル、３－メチルフェニル、４－メチルフェニル、２－メトキシフェニル、３－メトキシフェニル、４－メトキシフェニル、２－ピリジル、３－ピリジル、４－ピリジル、２－チエニル、３－チエニル、１－メチルピラゾール‐４－イル、１，３－ジメチルピラゾール－４－イル、１，３‐ジメチルピラゾール－４‐イル、または１，５－ジメチルピラゾール－４－イルである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１０】
式中、Ｒ^{3}が任意に置換ベンジルであってもよい、請求項１に記載の組成物。
【請求項１１】
Ｃ型肝炎を罹患する患者を治療するための薬剤の製造における、請求項１～１０のうちのいずれか一項に記載の化合物の使用。